

平成25年度 事務事業評価調査〔ソフト事業〕

事務事業コード 31212002

平成25年度作成

平成24年度  
実施事業

事務事業名 登別ブランド推進事業補助金

区分	No	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	2	域内経済循環の基礎となる複合的産業基盤の形成
小分類	1	観光を軸とした産業クラスターの構築
主要な施策	2	②地域ブランドの確立支援
事務事業番号	002	事業開始年度 平成 23 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	観光経済部	グループ名	商工労政グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	市内の特産品のブランド化に取り組む協議会の活動を支援することにより、登別ブランド推進事業の推進を図り、もって地域経済の活性化を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	登別ブランド推奨品の宣伝や販売促進、販路開拓に向けて支援を行う登別ブランド推進協議会に対して、その活動に要する経費を補助する。 【補助事業の内容】 登別ブランド事業推進のための各種活動、推奨品ポスター・パンフレットの作成、登別ブランド推奨認定事業者への物産展等出店支援等 【認定商品数】 19商品 ・平成21年度認定 10商品 (いいモノ発見「のぼりべつ」) ・平成22年度認定 3商品 (いいモノ発見「のぼりべつ」) ・平成23年度認定 2商品 ・平成24年度認定 14商品 (新規認定4商品、再認定10商品) ※平成21年度に認定した10商品の認定期間が満了したため、改めて審査した結果、全商品を再認定した
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	登別ブランドの認知度向上に向けて、マスメディアの活用を促進するとともに、ご当地グルメのブランド化に重点的に取り組むため、その研究に対する補助を増額する。また、現在参加していない事業者に対しても事業内容の周知を進めることで、事業の裾野を広げていく。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別ブランド推進事業補助金交付要綱

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	3,854	3,876	3,650	3,650	3,650
事業費 合計			3,854	3,876	3,650	3,650	3,650

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 認定商品数	品	目標値	3	10	6	6	6
			実績値	2	14			
	②		目標値					
			実績値					

平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等
<p>登録ブランド推進事業を平成21年度に開始して以降、登録ブランド推奨品の宣伝に努め、認定事業者が各種商談会などに参加できるように支援してきたことで、市民の間でも徐々に登録ブランドが浸透しつつある。また、推奨認定を受けた事業者からも登録ブランド推奨品の売上が推奨認定前よりも増加したとの声が寄せられている。</p> <p>現在は認定対象を加工食品に限定しているが、今後はその他の分野に関する登録ブランドとしての推奨認定の方法を研究していく必要がある。</p> <p>また、市内でのご当地グルメ研究に対する機運が高まっている。</p>	<p>登録ブランド推進協議会に対して補助金を交付することで、その活動を支援していく。</p> <p>補助金の内容については、ご当地グルメ研究に対する機運の高まりを一層促進するとともに、そのブランド化に重点的に取り組むため、ご当地グルメ研究に対する補助を増額する。</p> <p>また、現在参加していない事業者に対しても事業内容の周知を進めることで、事業の裾野を拡げていく。</p>

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）

1. 事務事業の妥当性について		
<p>市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？</p>	<p><input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である</p> <p><input type="radio"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である</p> <p><input type="radio"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である</p> <p><input type="radio"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している</p>	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>地域資源を利用して最終的には登録市のイメージを高めていくための施策であることから、市が登録ブランド推進協議会に対して補助金を交付して、その運営を支援していくことは妥当だと考える。なお、地域資源の活用については、国や道にも支援制度などがあることから、それらも併せて活用していくことで、効果的な事業が展開されるよう登録ブランド推進協議会に要請していく。</p>
2. 事務事業の必要性について		
<p>市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？</p>	<p><input type="radio"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある</p> <p><input type="radio"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い</p> <p><input type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い</p> <p><input type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い</p>	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>デフレの進行や大手資本の参入による価格競争が激しさを増す中で、地場の中小企業が競争に負けないためにはこだわりのある商品を製造する必要があり、それに対して支援をしていくことは必要性の高い事業であると考えられる。</p>
3. 事務事業の効率性について		
<p>事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？</p>	<p><input type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている</p> <p><input type="radio"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い</p> <p><input type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない</p> <p><input type="radio"/> ④ 将来的に効率性を向上できる</p>	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>登録ブランドに関するパンフレットやポスター等の作成、事業者が商談会や催事に出展する際の支援などに多額の経費を要しているが、登録ブランドの構築段階にある現状ではやむを得ず、今後、認知度が向上した際には効率性が期待できると考える。</p>
4. 事務事業の成果について		
<p>目的を達成するための成果はあがっていますか？</p>	<p><input type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる</p> <p><input type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる</p> <p><input type="radio"/> ③ 目に見える形で成果があがっている</p> <p><input type="radio"/> ④ 成果の把握は困難である</p>	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>登録ブランドの宣伝等に努めたことで、市民の間に徐々にではあるが、登録ブランド及び登録ブランド推奨品の認知度が高まってきている。</p>

①担当グループによる評価

<p><b>維持</b></p>	<p>左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)</p>	<p>ブランドの構築は、10年以上の期間を要するものであることから、登録ブランド推進協議会に対して補助金の交付を今後も継続し、その活動を支援していく必要があるため。</p>
------------------	-----------------------------	--

②行政評価会議による評価

<p><b>維持</b></p>	<p>備考</p>	
------------------	-----------	--